

# 神は子羊を備えておられる

トペカ、カンザス州 アメリカ合衆国

1964年06月20日 夕刻

1 マルコによる福音書から、読んでしばらく話すことを選びました。第10章の46節を読みましょう。御言葉を尊重するために読む間立ちましょう。みことばは神です。私たちは皆それを知っています。だからあなたは立って忠誠を誓います、そうすべきです。あなたは旗が通り過ぎたときに敬礼するために立ちます。だからなぜ神の言葉が読まれている間立たないのでしょうか？

それから、彼らはエリコにきた。そしてイエスが弟子たちや大ぜいの群衆と共にエリコから出かけられたとき、テマイの子、バルテマイという盲人のこじきが、道ばたにすわっていた。

ところが、ナザレのイエスだと聞いて、彼は「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」と叫び出した。

多くの人々は彼をしかって黙らせようとしたが、彼はますます激しく叫びつづけた、「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」。

イエスは立ちどまって、「彼を呼べ」と命じられた。そこで、人々はその盲人を呼んで言った、「喜べ、立て、おまえを呼んでおられる」。

そこで彼は上着を脱ぎ捨て、踊りあがってイエスのもとにきた。

イエスは彼にむかって言われた、「わたしに何をしてほしいのか」。その盲人は言った、「先生、見えるようになることです」。

そこでイエスは言われた、「行け、あなたの信仰があなたを救った」。すると彼は、たちまち見えるようになり、イエスに従って行った。

2 祈りましょう。偉大なる聖霊よ、今夜、この小さなドラマの中でこの御言葉で私たちに命を与えて下さい。そして、この場面が生き残っているのを見て、そうすることによって、神がまだ生きており、神が昨日も今日もいつまでも変わることがないという信仰を受け取らせてくださいますように。我々はそれを、イエスの御名、彼の愛する子、我々の救い主の御名によって尋ねます。アーメン。

どうぞ、おかけください。

3 今夜のテーマは、「神は子羊を供えられた」です。

そして今朝、私たちはイエスがエリコに入るのを見たので、とても素晴らしい時間を過ごしました。そして、私たちはそこにザアカイという名前の小さな人がいることを発見しました。彼はイエスが預言者であると信じていなかったのので、彼はいちじく桑の木に登り、自分自身をカモフラージュしようとしていました。しかし、彼の妻はイエスの弟子であり、彼女は彼のために祈っていました。そして、イエス様が木の下に来ると、イエスは立ち止まり、顔を上げて名前呼び、「今日、あなたの家に泊まることにしている」と言われました。そして、今夜も、私たちがここにいる間は、イエス様と引き続きともに居られたら良いことだと思っていました。私たちは今朝彼と一緒にいくように頼みました、そして私たちは彼と一緒に行きかけたので、エリコを通して彼と一緒に続けましょう。

4 さて、今夜、私たちの場面は同じ場所、再びエリコで始まります、そしてイエスは今ザアカイの家において、彼と食事をしています。そして、それは10月の寒い日であり、それはまだかなり朝早くであり、風が山から吹き降りていました。ユダヤの周りで、朝早く、特にその時期にはかなり寒くなります。

そして当時の国は、古い国が今でさえ同様に、乞食でいっぱいでした。彼らは街角を歩き回り、物乞いをしているのです。私は…まだこれらの国々では、通りは乞食でいっぱいなっていたのです。インド、そしてああ、アフリカ、そして多くの場所には、まだ乞食がいます。脚萎え、障害者、盲目、虚弱者。そして、時にはそれらのために生計を立てることができない人々、彼ら自身、彼らはただ物乞いをして、時々そこに座って飢えているのです。

5 私はインドで、これらの人々から私に与えられたいくらかのお金を持って通りを通り過ぎました、そして私はそれをドルからルピーに変えました。そして、それを渡すために、と言うのは、彼らは私を路上から追い出すために民兵を集めなければならなかったのです。彼らは私に熱狂的に押していました。そしてそこには貧しい小さな女性が横たわり、飢えて死にかかっていたいました。小さな赤ちゃん、それは肉が骨に割れるまで、そし

て小さな頭蓋骨が一緒になっているのが見えるところまで飢えていました。そして、あなたに赤ん坊を手渡し、あなたに赤ん坊が死なないようにそれで行ってもらうようにしていました。あなたがこの子連れていけるならば、あの子はどうか、この子はどうか？他には？？オーなんという事、それはあなたなのです。このゴミ箱で私たちが掻き集めたものを見るとしたら、ほとんど人々を食べさせることになるでしょう。世界の他の国々が飢えているのを見るまで、この国がどれほどうまくいっているかに気づかないのです。

6 そしてそれは乞食でいっぱいです。そして、この日、私たちの場面を開くとそこには、…私たちはこれらすべての乞食が、通常、エルサレムから降りて来て北の門のエリコにいるが分かります。エリコはそれほど豊かな都市ではありませんでした。しかし、エルサレム、神殿があること有名な場所、素敵な場所、そして金持ちはずべてエルサレムに移り住み、それは素晴らしく魅力的な都市でした。そしてそこからやってきた人々はかなり裕福でした。そして商人などは、彼らが日中に来るとき、これらの乞食には屋台がありました。それは不文律であり、彼らはそれぞれが彼のパン、彼の施しを懇願し、彼は自分自身をどこに置くかを知っていました。

そして、商人が入ってきたとき、彼らは早くそこに着いていなければなりません。多分その男は一日に一人の乞食を助けるだけで、彼が去る前にコインをポケットに入れていたからでしょう。そしてもちろん、その時、ローマはパレスチナを支配しており、通貨はローマのデナリでした。そして、彼らは小さなコインを持っていたので、彼はおそらくそれを最初の乞食にやったのででしょう。そしてそれはその日の為だけにやったのです。彼はすべての乞食に与える余裕はありませんでした。それで、最初に彼に会った人は、もちろん、コインを受け取りました。ですから、人々は都市に観光客などが入る前でさえ、彼らは門の外で彼らの場所を持っていました。そして彼らはその北の門のために、特にそこから観光客を降りてこられるようにするためにレイアウトしました。

7 そして、今朝我々が話していることについて理解するならば、太陽は今、9時頃で昇り始めています。少し遅れて到着した盲目の乞食がいました。

彼は悪い夜を過ごしました。彼は盲目でした。彼は小さい頃から盲目でした。そして彼は遅れて到着しました。彼はしませんでした…彼は一晩中再び会えることを夢見ていたので、彼はその朝寝坊しました。そして彼は彼のベッドでゴロゴロしてしまっていました。そして、そして彼は見るようになっていたのです、彼は見る事ができたと思っていたけど、この失望に目覚めて、彼は見る事ができなかったのです本当に、それはただの夢でした。

8 そして彼は彼の場所に行くために彼の道を下っていました。そして、彼がそこに着いたとき(今これは私が示したいものを示すためのドラマです)、そこには誰もいませんでした。奇妙なことが起こっていました。それでも、9時半か10時くらいでしかありません。そして、そこには乞食はもう誰もいませんでした。通常、すべての人が彼らの場所にいました。彼はその都市で何が起こったのか知りませんでした。我々は今朝の朝食でそのことについて話しました。イエスは門から入り、街に入って行きました。そして、多くの人々がそれが何であるかを知るために行き、乞食たちも行きました。そしてその盲目の少年はこれを知らず、遅れて到着しました。ですから、彼が別の名前を呼び始めたとき、私たちは彼の事が分かりました。そこには誰もいません。寂しい事件のようなもの。彼は、まあ、多分、ローマの将校が彼らをその場所か何かから追い出したのではないかと思っていました。だから彼は誰からも聞いていないので、彼は…それはちょっと肌寒かった、そして彼はボロボロで、彼の服はかなりくたびれていました。

そして彼は彼が太陽の外にあった岩を見つけるまで彼の周りをいじり回しました、それはおそらく神が古い壁、ヨシヤの時代に揺さぶったときに壁から落ちた物でしょう。彼はこの岩の上に座って、前の晩の自分の夢について考えていました、本当に見る事が出来るならばそれはどれほど真実になるだろうと考えていました。しかし、彼は一彼は見えませんでした。彼は盲目でした。そして彼はこれらのことについて考え始め、彼の心は子供時代に戻りました。

ご存知のように、私はそれをするのが好きです。座って、主が勝利するのを見た勝利の楽しいこと、そしてその時代について考えること。

9 そしてバルテマイは、私たちが彼を名前を知っているように、その夜、彼が見えるようになったことを夢に見て、彼が本当に見る事ができればそれがどれほど本当になるかについて考え始めていました。彼は考えました、「ああ、私は長い間盲目でした、私はどのように私が再び回避する方法を知っているかさえも分かりません。」それで彼は何年も前に、彼が小さな男の子だった頃の事を考え始めました。彼はかつて丘の側で遊んでいました。それはヨルダンが降りてくる土手にあります。そして谷がそこにあり、彼らはそこで穀物を

育てていました。そして彼は丘のそばに住んでいたと私たちは言う事になるでしょう。そして彼はそれがどれほどきれいであったか、そして春には、彼らが成長するにつれて小さな花が成長していて-見るために-覚えていました。そして、彼がそれらのうちのほんの一握りを選んでそこに座って、美しい青空をどのように見ていたかを覚えていました。

ご存知のように、失明は恐ろしいことです。私が盲目の人を見ると、私の心は彼のために動かされます。しかし、それでも、私は盲目よりもっと悪いことを知っています。霊的な盲目です。神がどのように人を造られたか—彼らは彼を視覚化しようとし、そして彼らにはそれを行うことはできません。

10 ある時、シンシナティ動物園で、私はそこにいて、私の小さな娘と私たちはそこに居ました。ご存知のように、私は野外が大好きです。そして、私は彼らがワシを捕まえたのを見ました -そして彼らは彼(鷲)を檻に入れました、そしてそのかわいそうな鳥!ある騒音を聞きました。そして私は小さなサラの手を握っていました。そして私たちは一檻に降りて行きました。そして、そこには彼の顔全体に血まみれのこの大きな大きな鳥、すべての羽は彼を打って抜かれてしまっていました。「なんて哀れな光景だ!」と思いました。

彼は降りました。。彼は檻を横切って歩いていった。彼はスタートを手に入れました、そして彼はここに再び来て、彼の翼を羽ばたかせて、頭をケージの側面にぶつけて、翼を上下に羽ばたかせて、檻から出ようとし、そして殴打しました羽が抜けてしまっています。しかし、彼は捕らえられました。彼は床に倒れてそこに横になりました。そして彼の目はぐるぐる回って、彼は見上げて、彼が生まれた青い空を見ていました。彼はご存知のように天的な鳥です。しかし、ご存知のように、賢いとされる人の到達事項によって彼は檻に入れられたのでした。

11 私はそれを見ながらそこに立っていました。「彼を買えるなら何でもあげよう。」と思っていました。私が彼を買うことができたなら、私は彼を自由にして「どうぞ、お爺さん鷲、あなたはそれが好きになるでしょう」と言います。私もそうです。自由になって、そこに行きましょう。あなたはそこに属しています。あなたはそのために生まれました。」「それは私が今まで見た中で最も哀れな光景だ。」と私は思いました。

私はサラを迎えに行き、彼女を私の腕に抱きました。私は言いました、「ハニー、あなたの目がこれまでに見た中で最悪の景色の一つがあります。」

私はそこに立って、考えていました。「いいえ、私はそれよりも悪い風景を見たことがある。その丘を見上げてください。そこで彼らはビールの缶を手を持ちたり、ショーツを履いている女性がいて、タバコを持っています。」彼らが実際に神の息子と娘になるために生まれたときに、彼らはサタンが彼らを入れた罪の檻の中にいます。哀れで、霊的に盲目で、閉じ込められています。教会に所属しているかもしれませんが、聖歌隊で歌いますが、まだ罪の中に閉じ込められているのです。

12 バルテマイが小さな子供の頃の事を思い出そうとしたとき、午後の2時頃、彼の美しいユダヤ人の母親が彼を「バルテマイ」と呼んでいました。それは丘の周りに響き渡ったので、彼はほぼ彼女の声を再び聞くことができた、そして彼は駆け上がっていきました。そして、彼女は前のポーチに出て、古いロッキングチェアを手に入れ、彼を腕の中で立たせました。そして、彼は彼女のきれいな目をどのように見るか、そして彼がどんなに美しい母親を持っていたかを思い出していました。そして、彼が夕方休むために、彼女がどのように以前彼を揺さぶって寝かせて眠らせていたか。そして彼女はそれをどのようにしたか、彼女は彼の物語、彼らの人々の物語、そして彼らの中にいた神の偉大で強力な預言者たちの物語を彼に話しました。そして彼はどれほどそれを愛したか、彼はそれを聞くのが大好きでした。

13 母親が子供たちをハリウッドのスキャンダルのテレビ番組に放り込んだのは残念です。同じことをする代わりに、彼らに聖書の物語を話すべきです。。

しかし、彼女は本物のヘブライ人の母親であり、彼女は小さな人の物語を語っていました。彼女なら、彼らがエジプトで奴隷であったとき神が偉大で強力なモーセを送ったことを彼に話すでしょう。神は父祖であるアブラハムが彼らを解放すると約束しました。そして神が彼らの中に建てられたモーセと呼ばれる偉大な預言者に現れました。そして、彼は火の柱の形で来て、モーセをエジプトに送った、そして彼が彼らをエジプトから救出するために行った偉大で強力なしるしと奇跡。そして、それが行われたのは荒野で、パンも食べるものも何もない状態で、それでも彼らは従順の道を歩いていたので、神はパンを空から降らせました。

14 そして、私は小さなバルテマイが「ママ、ちょっと待って」と言うのを聞くことができます。神は彼の天使たちのすべてを上で動かさなければなりません、そして彼は空全体に大きな大きなオープンを持っています、そして天使たちは残業し、パンを準備し、それを押し出します…」

「いいえ、ハニー、あなたは若すぎて理解できません。ほら、エホバはそんなことをする必要はないのです。エホバがオープンを持つ必要はないのです。彼は創造主です。彼はただそれを話します、そしてそれがなされるのです。」

では、イエスが同じことをするのを見たとき、イエスについて何を言うつもりなのでしょう？彼について神的な何かがあるに違いありません。彼はエホバと何らかの関係があるに違いありません。今日、彼をただの預言者、または普通の人、または哲学者、良い先生にしようとしている人がいます。彼は肉体を取って現れた神に他ならないのです。

15 そこで彼女が彼に話し、彼がヨルダンをちょうど超えたところで偉大な荒野に出くわしたこと、そして4月に雪が降ったときの春の様子を彼に話しましたユダヤで溶けて、山の水がすべて降りてきて、すべてのヨルダンは水で満たされていました。川底の大きな背水でした。川が洪水に見舞われたその最悪の時まで、彼の民を導き出したのに、それによってエホバは悪い導き手のように見えました。彼らはどのようにして橋を架けることができるのでしょうか？そして、小さなヨシュア、または小さな…ヨシュアではありません。

しかし、小さなバルテマイは、「ママ、彼はどうやってそれをしたのですか？」と言うかもしれません。

「ハニー、覚えておいてください。エホバは今でも創造主です。彼はただ話しました、そして…」と言いました。

16 神は物事の中に入り込むのがお好きです、問題が起こっている時に、そして神ご自身をお見せになるのです。ちょうど春に！夏の間、あなたはおそらくそこにヨルダンをかなり簡単に横断することができたとき、その街からの浅瀬があります。私たちはそれを知っています、スパイが行き来してこれに来ることによって。しかし、神は谷全体を水で満たし、それから彼は来て彼の偉大な力を天から引き出し、それを横切って乾いた道を作りました。すぐ下に岩が立っていて、そこにはヨシュアが彼らに山を築かせるために、彼らの民がどのように世話されたかをエホバへの記念として残しました。そして彼は…

17 もう一つの事は、彼は本当に好きだったのですが、シュナムの女についてでした。彼はそれを覚えていました。そして彼の母親は彼にエリヤの時代のシュナム人の女性と偉大な預言者エリヤの話をし、この女性がこの預言者に優しくしたことを話しました。しかし、彼女は正確にはイスラエル人ではありませんでした。彼女はシュナム人でした。

だから、彼女はエリヤが預言者で、主の偉大な預言者であると信じました。だからその時…ある日、その女は夫に言った、「いつもわたしたちの所を通るあの人は確かに神の聖なる人です。わたしたちは屋上に壁のある一つの小さいへやを造り、そこに寝台と机といすと燭台とを彼のために備えましょう。(列王記下4:9-10抜粋参照:口語訳)

18 エリシャはゲハジに言った、「彼女に言いなさい、『あなたはこんなにねんごろに、わたしたちのために心を用いられたが、あなたのためには何をしたらよいのでしょうか。王または軍勢の長にあなたの事をよろしく頼むことをお望みですか？』

彼女は答えて言った、「わたしは自分の民のうちに住んでいます」。大丈夫です。」

ゲハジは言った、「彼女には子供がなく、その夫は老いています」。彼女は年を取り、夫は年をとって、彼らには子供がいないのです。」そして言った…

そしてエリシャは幻を見たに違いありません。彼は言った、「行って彼女に言いなさい、主がこう仰せになられる、彼女に男の子が生まれるであろう。」そして、月が満ちて9ヶ月後に、小さな男の子がやって来ます。

19 [テープ上の空白のスポットー 編集。]…年寄りでした、彼は父親と一緒に畑の外で収穫をしていました、そして彼は日射病にかかっていたに違いありません。彼は叫び続けました。「頭が！頭が！」そして父親は彼を家に送りました。母親は彼を彼女の膝の上に抱き、そして彼を揺さぶった、そしておそらく彼に与えられるすべての救済策を彼に与えました。そして、その少年は、ついに正午頃に彼が亡くなるまで悪化しました。

そして、どうやってもその小さなお母さんは負けることはないでしょう！父親が入ってきて近所の人たちがみんな入って来て、彼らが泣き叫んでいたとき、小さな子供は死んでいたが、彼女はまだこの預言者であるヘブライ人の預言者を信じていた。彼女は異邦人だった。彼女は言いました、「ラバに私を乗せてください、そして、止めないでください。しかし、私はこの預言者が住んでいる洞窟、カルメル山に行かせてください。」

そして彼女の夫は言いました、「それは新月でも安息日でもありません、そして彼はそこにはいません。」

彼女は言った、「すべては良くなるのです。」

「続けて」と言いました。

20 そしてエリシャは彼女が来るのを見たとき、彼とゲハジは洞窟から出てきて、そこに立っていました。そしてここに彼女が来ました。彼は言った、「ここにシュネムの女が来ていて、彼女は困っています、しかし神はそれを私の心に秘密にしておられました。」

ご存知のように、神は彼の預言者にすべてを告げるのではなく、彼に彼らに知ってもらいたいことだけを告げられるのです。

それで彼は一彼は見て、「彼女は…」と言いました。すぐ走って行って、彼女を迎えて言いなさい、『あなたは無事ですか。あなたの夫は無事ですか。あなたの子供は無事ですか』

そして、これも私が好きな部分です。

ゲハジが彼女に会ったとき、彼は言いました、「あなたは無事ですか。あなたの夫は無事ですか。あなたの子供は無事ですか?」

彼女は言いました、「すべて無事です。」死んで横たわっている赤ちゃん、叫んでいる夫、彼女の心に涙が落ちていますが、「すべて無事です。」彼女は、彼女を祝福することができる人の前に来ていました、そして、彼女には赤ん坊がいました、確かに神は彼が彼を連れて行った理由を明らかにしました。「主は与えられ、主は取り去られる、主の御名はほむべきかな!」彼女はその理由を知りたがっていました。

21 そして、それが彼女がエリシャの足元に立ち上がって倒れたところ、ゲハジは彼女をけいれんさせました。それは彼の主人の周りではなりませんでした。そして彼女は何が問題なのかを明らかにしました。そしてエリシャは降りて来て、小さな男の子に自分の体を置くことによって、小さな男の子を蘇らせました。

そして、母親の信仰にも注目してほしい。彼女はエリヤが寝ていたベッドの上に赤ちゃんを寝かせました。私はあなたにしてほしいのです…

私はここでパウロの考えを私の考え方に向けることによってはっきりさせたいと思います。ご存知のように、パウロは病人や苦しんでいる人に、エプロンやハンカチを置きました。パウロが聖書に忠実でなかったとは思いません。私はここが彼がそれを得た場所だと思えます。あなたはエリシャがゲハジに最初に言ったことを覚えていますか?「私の杖を取って、赤ちゃんの上に置いてください。」彼は自分の触れたすべてのものが祝福されていたことを知っていました。そして、あなたは覚えていますか、パウロはハンカチのために祈りませんでした。それらはただ、彼の体から取り出したものでした。それが人々の信仰でした。

だから、彼は言った、「私の杖を取って、(誰かに敬礼されたら、敬礼しないでください)赤ちゃんの上に置いてください。」

しかし、その女性の信仰は杖にはありませんでした。それは預言者の中にありました。そして彼女は言いました、「私はあなたを離れません、あなたが来られるまで…確かにあなたの魂が生きている限り、私はあなたを離れません。」

それで、エリシャは彼女を行かせるために、彼女と一緒に行かなければなりませんでした。そして、彼は中に入って、小さな死んだ赤ん坊の上に彼の体を置きました、そして、赤ん坊は7回くしゃみをして、生き返りました。

22 私、なんと、この小さな少年にとって、なんと素晴らしい物語だったことでしょう。バルテマイ、彼が小さな男の子だったときに聞いたのでした。それは小さな男の子の蘇りだったから、彼はその小さな物語がどれほど好きだったことでしょう。それは彼のお気に入りの一つでした。

「しかし、それは過ぎ去った時代でした」と司祭は今彼に話します。「ああ、イスラエルに偉大で力強い人がいた日でした。偉大で強大な預言者たちはこの地を歩いていました。」しかし司祭たちは言った、「エホバはもはや預言者を必要としません。」司祭だけがそう言うのではありません。しかし—しかし彼らはそうしました。「エホバはもはや預言者を必要としません。彼は私たちに律法を与えてくれました、そして私たちは

教会と宮を建てました、そしてそれは私たちが必要とするすべてです。」そして、それは彼らが今日それを信じるのほとんど同じ方法ですが、それでもエホバはエホバのままであり、彼は彼の方法を変えることはできません。彼は神であり、変わらない。今、彼らはそれが彼らが必要とするすべてであると信じていました。

23 そして、彼がこの空想の中にそこに座っていた間に、それについて考えて、彼の盲目は暖かい太陽に向けられました。一度に、彼は小さなラバの足のカチカチという音が聞こえてくるのを聞きます。エルサレムから降りてくる岩だらけの道、石畳に入ってきます。と、彼は近くで聞いて、小さなラバの前を走っているサンダルを履いている人がそこに居ました。そして彼はラバで旅行をしており、ラバを導く召使もいたので、彼はその人が金持ちであるに違いないことを知っていました。

それで、彼は生きるためにいくらかのお金を得なければならなかったことが分かっている、立ち上がるのでした。それで彼は起き上がり、彼のローブと彼の周りに小さなぼろぼろのローブを置き、通りに向かって走り出しました、そして彼は言いました。「少しのお金を与えていただきたい。今朝は遅刻しました。私に小さなコインをくださいませんか？私は盲目です。」

24 そして、私達は本当の荒々しい声が聞こえてくるのを聞きました。「乞食よ引き下がれ！私はエホバの僕です。私は司祭です。私は協会から送られてエルサレムから降りてきて、今朝このエリコで行われるその癒しの集会をやめます。私はここで兄弟たちに会い、それが進んでいないことを知って、それを続けなくて、人々を捕まえなければなりません。その土地には偽預言者がいますね。私たちは…今朝彼がエリコにいると聞いています、そして私は私の場所にいるのです。邪魔にならないで！」司祭。「そして、大丈夫、僕があなたの方向に向かっています。」そして、小さなラバは再び踏みだしました。

25 それからその乞食は、岩を見つけるまで腰を下ろして、かなり離れている感じて、座っていました。彼は夢を見続け、彼が考え始めたとき、「私が立っていたその小さな道にいる。それほど昔ではありませんが、偉大で強大な預言者エリヤとエリシャが、腕を組んで、同じ道を歩き、腕を取り合ってヨルダンに降りて同じ道を通ってきました。そして、ヨルダンは再び予定だったのです。そして反対側には、この疲れた年寄りの預言者エリシャのために、火の戦車と火の馬がその手足にひっかかっていた、彼を家に連れていくためでした。そして彼はこれを見るためでした、若いエリシャ。エリシャは彼の前に置かれたものを振り返って彼の前に置かれたミニストリーを見ていたのです。彼はこの預言者を見張らなければならなかったのです。」

26 そして私はバルテマイが言ったことを想像すると。「もし私がその日だけに生きて、ここに座していることが出来たならば、私はそれらの預言者に逃げて、私の顔に落ちて、「ああ、神の預言者！私のために祈ってください。エホバが私を見えるようにして下さいます。しかし司祭は言います、「いいえ、もうそのようなことはないのです。もうそれは我々にはないのです。エホバはご自分の力によってもはや癒されることはないのです。私たちには医者とそれを行うものがいるのです。そして、それはもはや必要としないので、エホバが癒されることはないのです。それは過去の事でした。私たちはただ律法を守ればいいのです。そして私たちは病気になる、死んで天国に行きます、そしてそれだけなのです。それだけで我々には十分なのです」

27 それから彼が考え始めると、彼は思い出しました。彼が座っていた場所から500ヤードと言うことではないのです、イスラエルは渡ってキャンプをし、すべての天幕が整えられた後、すべての天幕はすべての場所があり、エリコに行進する命令を待っていました。そして、おそらく彼が座っていたまさにその岩は、エホバが壁から吹き飛ばしたものでした。

そして、言いました、「ただ考えてみてください！それほど前の事ではありませんが、神の大いなる大いなる僕であるヨシユアが川を渡り、春に敵の目の前に天幕を張りました。ある日、彼のエリコへの攻撃の戦略を研究している間、ある夜、外に出ていた時、またはある朝、門を一望し、それがどれほど素晴らしかったかを見ていました。彼らはその上、馬、馬の数頭と共に、門の周りを戦車で走ることができました。どのようにヨシユアが見ていたかと言うと。ヨシユアがエリコの近くにいたとき、目を上げて見ると、ひとりの人が抜き身のつるぎを手に持ちこちらに向かって立っていたので、ヨシユアは叫びました、「あなたはわれわれを助けるのですか。それともわれわれの敵を助けるのですか」。彼は言った、「いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ」強力なヨシユアは彼の剣を地面に投げ、彼のヘルメットを脱いで彼の足元にひれ伏しました。」

28 盲目のバルテマイが考えていました。「それは、私が今座っている場所から500ヤードの距離ではありませんでした。主の力強い主将にヨシユアが彼の足元にひれ伏した場所。ああ、もし私が彼らの幕屋の中にしかいたとしたならば、私は主の大尉に私の視力を与えてくれるかどうか尋ねます、そして彼はそれをくれた事でしょう。」彼はその同じ主将が彼から100ヤード未満の距離にいることをほとんど知りませんでした。

それが今夜の失敗です。我々の失敗なのです。私たちはすべての栄光とキリストを別の時代にさかのぼろうと做的是。聖書は、「彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない」と言っている。彼は今夜、ガリラヤやエルサレムを歩いたときと同じように、この建物のここにおられるのです。

29 その偉大なる主将はザアカイの家から出てきていました、そして人々は外で彼を待っていました。

数分で、彼は雑音を聞き、その雑音には混合された声がありました。

一つは、「主の御名によって来たる預言者へホサナ!幸いなるかな、エホバの僕であるガリラヤの預言者です!」と言いました。

他の人は言いました、「そのような人とは離れなさい!このこの都市の周りには、このようなものはないのです。」そして彼らが出てきて、彼が門を通過して移動している時に、何人かが熟しすぎた果物を彼に投げつけました。

そして、彼はそのようなことを聞いたことがなかったので、「何が起きているのですか?この雑音の全ては何から来ているのですか?ここで何が起きているのですか?」そして、人々は押しあっていました。

30 しばらくして、彼はその会合を開かないようと協会に降りて行った同じ司祭の声を聞いた。彼は彼が言うのを聞いた、「彼らはあなたが死者をよみがえさせると私に話しています。今、私たちはこの丘の上の墓地全体に死体がいっぱいあります、あなたが上に来て、私たちの前にいくつか蘇らせるのを見せて下さい。」

しかし、ご存知のように、彼は十字架につけられるためにエルサレムに向かっていたのです。世界のすべての罪は彼の上置かれていました、そして彼は犠牲として捧げられるためにエルサレムに行くことになっていました。そして彼らは彼をからかって、馬鹿にしていました。そして、彼らの何人かは彼を祝福し、彼らの何人かは彼をのろいました。ちょうど彼がいるほとんどすべての集会にいるように。一部は彼に賛成しており、何人かは彼に反対しています。しかし、彼が彼を悩ませることはなかったようです。彼は彼におかれた道を完了させることに目を向けていただけでした。そして彼はエルサレムに向かって歩いていました、着実に歩きました。そして12人の小さな男が群衆を押さえ込もうとしてそこに駐留していました。そして、何人かは彼に触れようとしています。そして、中には叫んだり、彼をからかう人などもいました。

31 そして、今夜の私たちの登場人物のように、群衆は盲人の老人を襲い、彼らは彼を押し倒しました。そして、素敵な若い女性がやって来たとしましょう。たぶん今朝の私たちの話では、リベカの姉妹だったのかもしれないし、あるいはキリストを信じた人だったのかもしれない。そして彼女は彼らが老人を押して、彼は…彼らが不親切であるの見たのでした。しかし、彼女はイエスを信じていたので、それが彼女を親切にしました。常にそうです。それは老人や必要を抱えた他貧しい人々に思いやりを与えます。そして、老人は押し倒されていました、そして、彼女は彼を立たせるために、身をかがめました。彼女は…

32 彼は彼女にこのようなことを言ったのかもしれない、「若い女性、私はあなたの声で、あなたが若い女性だと言うことができます。」

「そうです。おじいさん、立ち上がりますか?私は彼らがあなたを傷つけるかもしれないと思います。」

彼は言いました、「その大騒ぎの理由の全ては何なのですか?ここで混乱と混沌している理由の全ては何ですか?それは一体何なのでしょう?」

「なぜ」とダビデの子ナザレのイエスが町にいることをご存知ではなかったのですか?と彼女は言いました。ガリラヤの預言者である彼が来ているのです。それをご存知ないということですか?」

「いいえ、私は彼について聞いたことがありません。」

「さて、それでは、今朝、街で何が起こったのかをお話ししましょう。レストランの男、ザアカイを知っていますか?」

「はい」

「彼はいつもある種の批判家でした。彼の妻は信者でした。そして今朝、ザアカイはイエスが近づくのを見るために木の上にはいました。そして私たちは皆、彼が預言者であることを知っています。そして、イエスが近づいたとき、彼は立ち止まり、顔を上げ、ザアカイを彼の名前で呼びました。それまでにイエスはエリコにいたことはありませんでした。」

33 古い乞食は明るくなった。彼は言った、「それは申命記18:15の成就です。『私たちの神である主はあなたのうちから、あなたの同胞のうちから、わたしのようなひとりの預言者をあなたのために起されるであろう。あなたがたは彼に聞き従わなければならない。』それは彼に違いない。もし彼がいるのであれば、彼は今どこにいるのでしょうか。』」

「彼はその道を降りて100ヤードほどのところにおられます。」

彼が通り過ぎたと彼は思っていました。それで彼は叫び始めました、「イエス、ダビデの子、私を憐れんでください。ダビデの子よ、私を憐れんでください。あなたが通り過ぎる間、憐れみを下さい。」

さて、肉体的には、騒ぎのせいで彼は彼の声を聞くことができなかつたでしょう。ある人は主を賛美し、ある人は祝福し、ある人は彼を呪っていました。そして、その騒動で、彼を聞いたことは決してなかつたでしょう。

34 しかし、彼はみことばでした。そして魂が叫んでいるとき。血の問題を抱えた彼の衣の裾に触れたあの女性のように。聖書では「彼はじっと立ち止まっていた」と言っています。それが彼を止めさせたのでした。考えてみてください。ただ考えてみてください。その盲人の呼びかけ、取るに足らない年寄りの乞食、そして世の罪と彼の重荷で、エルサレムに行って罪の捧げものになりましたが、一人の人間の魂の呼びかけは彼を止めて立ち止まらせたのでした。

彼は昨日も今日もいつまでも変わることはない方なのです。今夜、1回の呼びかけでその場面に彼を連れて来るでしょう。当時と全く同じなのです。どれほど彼が変わらずにとどまっているかを!

35 私は覚えています、ある晩テキサスのダラスから来た時のことです。数年前の事でした。私はメンフィスをよく知っていました。そして彼らは私をその有名なホテルに連れて行った、航空会社がしたのです、それはピーボディホテルでした。そして、彼らは翌朝、リムジンに乗るのに間に合い、飛行機に戻るようにするために私に電話すると言っていました。

そして、私は一晩中よく眠っていました。翌朝起きて、手紙をいくつか書いていたので、郵便局に行き、郵送しました。私は外に出て通りを下り始めました。そして突然、私は何かが「止まって、戻りなさい」と言っているのを感じました。

さて、あなたは人々がどのように印象を得るか知っています。そして、私は「まあ、それはおそらくそれがそうだったのだろう」と思いました。

36 もう少し進んだ時に、それは再び「止まって、戻りなさい」と言い続けました。

まあ、私は角に立ち上がっていて、そこには角に大きなアイルランド人の警官がいて、私は…窓際で釣りのリールや物を見ていました。そして、私は立っていたのが少し長すぎたのかもしれませんが、そして彼が私がそれらのリールの1つを手に入れようとしていたことに疑いを抱くかもしれないので、私はちょうど振り向いて戻って歩き始めました。そして、私がより速く、より速く歩いて戻ったとき、私はホテルのすぐそばを通り、川に向かって下りました。わかりません、今夜、その場所を見つけることができると思います。そして、私は「ここで遅くなってきましたが、何か…」と思いました。

37 神に導かれてきたと信じていますか? [会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]そして、私が下に行くとき、私—私は…遅くなってきていて、私は急ぐ必要があることを知っていましたが、何かが「続けて」と言い続けていました。

そして、私が戻って私の飛行機に乗るにはほとんど遅すぎたので、私は「まあ、私は—この導きに従わなければならない」と思いました。そして、私はたまたまこの小さな歌を歌っていました、私はあなた方ペンテコステ派の人々と会いました:

彼らは上の部屋で集まっていた、  
そして、皆が彼の名前で祈っています、  
そして聖霊でバプテスマを受けていました、  
そして、礼拝のための力が来ました。

その歌を聞いたことがありますか? 「そして、私が彼らの一人であると言うことができうれしいです。」私はそれを繰り返して言っていました:

是非、私の兄弟、この祝福を求めて

それはあなたの心を罪から清めるでしょう。

38 そして、私が通りを下っていくと、私は見ました、そして、そこに年長の典型的なジェマイマお婆さんが小さなフェンスに乗りかかっていた、そしてそこに小さな色のついた家があり、フェンスを越えて傾いている小さな白塗りの小屋のようでした。彼女は男物のシャツを頭に結びつけていました。

そして、私は歌うのをやめて、歩き始めました。どこに行くのか分かりませんでした。彼はただ「とにかく歩き続けなさい」と言いました。そして、私が彼女にかなり近づいたとき、私は彼女がちょっと笑っているのを見ました。そして私は彼女を見渡し、頭を向けて歩いて行きました。

彼女は言いました、「おはようございます、牧師先生」。さて、南部では、牧師は「ミニスター」を意味します。

そして、私は「おはよう、お婆さん」と言いました。

39 私は振り返って、「彼女はどのようにして私が牧師であると知ったのだろうか?」と思いました。そして、私は聖書も何も持っていませんでした。

私は引き返しました。私は「私が牧師であることをどうやって知ったのですか?」と言いました。

彼女は言いました、「私はあなたが来ることを知っていました。」

そして私は「私にはある種、奇妙だ」と言いました。

そして、そして彼女は言いました、「あなたは今までにシュナム人の女について聖書を読んだことがありますか?」

私は「ああ、はい、お婆さん」と言いました。

彼女は言いました、「ご存知のように、彼女は、しませんでした、彼女は石女で、子供を持つことが出来ませんでした。」

私は言いました、「はい、お婆さま、私はその話を覚えています。」

「そして彼女は主に約束しました、そしてもちろん彼女はその赤ん坊を主に仕えさせるために育てるつもりでした。」そして、「だから、私はそのような女性でした。」と言いました。彼女は言いました、「私には子供がいませんでした、夫と私には。」そして、「私は主が赤ん坊を私に与えるなら、私は彼のためにその子を育てることを約束しました。」と言いました。「彼は私に赤ん坊をくれました」と言いました。そして、「主に仕えるために、私はその息子を最善の形で育てました。」と言いました。彼女は言いました、「しかし、お分かりのように」と彼女は言いました、「彼は間違っただけに入っただけで、そして彼は病気にかかったのです。」そして言った、「人間の医者には彼に彼が与えることができるすべての注射や薬を与えました。そして、それは終わったのです。」と彼は言いました。「彼の血は四つ以上の性病にかかっているのです」梅毒。そして、言ったのでした、「彼の血の一部は彼の心臓を通して落ちている。彼の心臓には穴が開いています。」そして、「彼はそこに横たわっています、意識がありません。」そして、「ある医者が2日前にここにいて言いました、『彼はもう目覚めないでしょう。彼はもう死んだ。』」と言いました。

40 そして、彼女は「私は私の息子がそのように死ぬのを見るのにただ耐えられない」と言いました。そして、「それから私は一私一晩中祈りました、「主よ、あなたが彼を連れて行くなら…あなたは彼を私に下さいました。でも私は一私一彼が救われたと彼に聞きたいので、また会うことになるのが分かっています。そして、「私は祈りました、そして私は言及したシュナム人の女性のように祈りました。」

そして、「私は眠りについた、そして私は夢を見ました。」と言いました。彼女は言いました、「そして私は主に言いました、「あなたは私に赤ん坊を下さいました」。そして、「私はシュナム人の女のようにでしたが、あなたの預言者はどこにいますか?」そして主が言われたのです、「ほら、ここに来ている」。そして、小さな帽子を頭の横に傾けてかぶった男が、灰色のスーツを着て通りを下りてきたのを見たのです。」

そして、「それは今朝の4時ごろでした。」と言いました。彼女は言いました、「私はそれ以来ここに立っていました。」

彼は今も神であられるのです。彼は両方のために応えて下さいます。

41 私は言いました。「私の名前はブランナムです。病人のために祈ります。私のミニストリーを聞いたことがありますか？」

彼女は言いました、「いいえ、ブランナム牧師、私はあなたのことを聞いたことはありません。」そして彼女は言いました、「お入りになって下さいませんか？」

そして、私が門を開けに行ったとき。そこには少し古いフェンスがあり、門にはアーカンソーのようなすきが掛かっていた。とにかく川の向こう側だったので、あなたはそれが何であったかを知っています。それで私は門を引き戻して中に入りました。

私はその家に入ったとき。私はこれまでに3つか4つの異なる王の宮殿に行きました。イギリスの王、スウェーデンのグスタフ王、多くの場所で、彼らと一緒に祈りました。そして、私はハリウッドだったと思いますが最高の家のいくつかに行っていたことがあります。しかし、私はその時よりも歓迎されたことはありませんでした。シンプルな小さな古い部屋、2つの部屋、裏に小さなキッチン、ここの小さな寝室、そして小さくて古いポータルベッド。壁にはピンナップはありませんでした。しかし、そこにはしるしがありました、「神が私たちの家を祝福します。」

42 私はそこに横たわっていた、大きな大きな黒人の男の子は、18歳くらいの偉大で強く健康そうな男の子に見える子を見ました。そして、彼は手に毛布を持っていました、そして彼は、「ええと！ ああ！」と言い出したのです。

そして私は言いました、「彼の問題は何ですか？」

彼女は言いました、「彼は、彼は暗い海にいて、失われて迷っていると思っています。そして、彼は「海で迷子になっている」と言い続け、道を見つけることができません。彼はボートを漕いでいると思っています。」「彼はそれを2、3日やってきた」と言いました。そして、彼女は「私は一彼をそのように死なせることはできません。」と言いました。「あなたは彼のために祈ってくれますか？」と言いました。

私は「はい、おばさま」と言いました。

私は癒しについて話さなければなりませんでした。彼女はそれに興味がありませんでした。彼女は彼が救われたと彼が言うのを聞きたいだけでした。彼女が興味を持っていたのは、彼が救われることだけでした。そして私は言いました、彼は…

43 彼女は歩き、彼の頭を抱え、彼を引き戻し、彼の頬にキスをして、「神はママの息子を祝福します」と言いました。

私はそれを見てそこに立っていて、「そうです、それだけです」と私は思いました。彼が家族にどれほどの不名誉をもたらしたとしても、彼がどれほど遠く離れていても、彼がどんな問題を抱えていても、彼はまだ「ママの大好きな息子」なのです。

そして私は考えました、「聖書は「母親は彼女の乳児を忘れることはできますが、私はあなたを忘れることはできません。あなたは…」どれほどの愛があるのでしょうか！「あなたの名前は私の手のひらに刻まれています。」」

彼女は彼にキスをした。私たちはひざまずきました。私はベッドの足元に座りました。私は彼の足に手を置いた、彼らは熱く、ベトベトしていた。

44 そして私は「おばさん、先に祈ってくれませんか？」と言いました。そして、私の友人、私は彼女が以前に主と話したことがあることを知っていました。ア－何という祈りを彼女は神に祈ったのか！

それから彼女は言いました、「あなたは祈られますか？」

そして私は言いました、「はい、おばさま。」

私は言いました、「天のお父様、私は飛行機に少なくとも1時間は遅れています。あなたは私に、ここに降りてきて、ただ行き続けるようにと言われました。そして、これがあなたが私を望んでいた場所かどうかはわかりませんが、ここで私は立ち止まりました。もしあなたがこの少年のために祈るために私を送ったなら…」

そしてそのころ、彼は「ああ、ママ!」と言いました。

彼女は言いました、「ママのベイビーは何が欲しいの?」と

「部屋に光が入ってきた」と言いました。約5分で、彼はベッドに座っていました。

45 私は急いで出て行きました。私は「まあ、私はタクシーを捕まえることさえできれば、それだけで、1日以上待つか、別の飛行機を手に入れることができるときはいつでも」と思っていました。

私がゲートに入るとちょうど2時間遅れて、「ケンタッキー州ルイビルへのフライト番号67のラストコール」と彼が言うのを聞きました。

何だろう?なに?神の主権!分かりますか?その貧しい、ほとんど、取るに足らない、黒人の女性の祈りと信仰がその飛行機を接地させ、そこに保持させていたのです。彼はエリコの城壁で止まり、盲目の乞食に振り向くことができるその同じ神なのです。彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない神なのです。それを行うのは信仰です。彼はあなたにそれを信じて欲しいのです。

46 ちなみに、約2年後、電車でフェニックスに戻りました。そしてそこを通りました。そして、ご存知のように、彼らはサンドイッチをかなり高く売ります、私は通常駅で降りてハンバーガーをいくつか手に入れるようにしています、私が降りるまで私がそうするために私が降りるまで袋をいっぱいにして薄くスライスされた小さな古いサンドイッチは75セントで、片面しかありません。そして、そしてさて、それはひどいです。そして、私はメンフィスで飛び降りました。そして、もし誰かがメンフィスにいたことがあったら、電車がここでターンテーブルをどのように引き上げるかを知っていますよね。私は飛び降りてハンバーガースタンドまで走りました。

誰かが「こんにちは、ブラナム牧師!」と言うのを聞きました。

私は周りを見回しました、こちらで向こうに立っているこの小さな赤い帽子が頭をあげていました。私は「こんにちは、息子よ」と言い始めました。

「あなた、あなたは私を知らないのですか?」と彼は言いました。

私は言いました、「いいえ、知っているとは思いません。」

「あなたは知っています、ある日あなたは私の家に来ました。」と言いました。そして、「私の母は外に立っていました、そしてあなたは彼女の背中をたたいて、泣いていました」

私は言いました、「あなたはその時の少年ですか?」

「はい、そうです。」と彼は言いました。彼は言いました、「ええ、私は -私とその少年です。」彼は「私は癒されただけでなく、私はそれ以来救われもしました」と言いました。それで、それだけでした。

ああ、驚くばかりの恵み!盲目の乞食が彼を止めることができる同じ神、取るに足りない、小さい、黒人の女性が飛行機を留めておくことさえさせる同じ神なのです。彼女の祈りと神への信仰!彼女はそれを信じていました。

47 イエスはじっと立っていました。その盲目の乞食の顔が彼の足を止めたので、私はその主題を説教するために数晩過ごしたいと思えます、そしてそれからイエスは黙って立っていました。しかし、彼はそこに立って言いました、「彼をここに連れてきなさい」。アーメン。

私はここしばらく前に聖書の歴史を読んでいたときに盲目のバルテマイについての物語を読んでいた。それはおそらく伝説ですが、そこには彼は常に癒しを信じていたと書かれていました。司祭が何と言っても、彼はまだそれを信じていました。彼は結婚していて、妻がいて、彼が見たことのない少女だったと言いました。彼女はその頃の年齢で、約16歳でした。彼は彼女を見た事はありませんでした。彼が何をしたかを言った……

48 ご存知のように、物乞いをしているときは、他の仲間とは少し違うものを持っている必要があります。そうでなければ、人々の注意を引くことができません。インドでは、彼らはこれらの小さなマングースにコブラを殺させ、注目を集めるために彼らができる別の何かを殺させました。私は、猿が杖を取り、通りを越えてボールを打ち、別の何かを見て注目を集め、それから彼らがそれにお金をあげるのを見ました。

そして、バルテマイには、お互いに小さな…のように、転がり落ちるコキジバト二羽がいて、それが人々、観光客を楽しませ、彼らは彼にお金を与えていると言いました。

49 そしてある夜、彼の妻が本当の病気になったと言いました。そして彼らには医者がありました、そして医者は言いました、「バルテマイ、私には何もできません。彼女の事ですが、私にはその熱を冷まし元気にすることは出来ません。」と言いました。

そして彼は壁の周りに自分の道を感じ、家の外に出て言った、「エホバ、私はあなたを愛しています。私はあなたを信じています。私はあなたに捧げられるものが何もありません。私にはそれによって生活している、2羽のコキジバトがいます。しかし、私の親愛なる妻が私と一緒にいて子育てを手伝ってもらえるようにして下さるならば。そして、私は盲目で、私には見えません。私の妻が私を助けてくれるように元気にさせてあげるなら、私はあなたに約束します。明日にはより大きな犠牲を払うつもりです。私の小さなコキジバト連れて行き、私の捧げものとして捧げます」

50 まあ、彼らは彼の妻が元気になった言っています。彼はコキジバトを取ってそれらを捧げました。

その後しばらくして、彼の娘が病気になりました。彼女も死にかけていたので、彼は再び祈りに出かけました。彼は言いました、「エホバ、私には何も残っていませんが、私は子羊を持っています。」そして、彼らの時代、子羊は盲導犬がそうするように盲人を導きました、彼らは盲人を導くように訓練されていました。そして、彼は子羊を持っていて、彼が物乞いをするための柱にそれが彼を導いていました。彼が言った、「エホバ、私に残された唯一のものは、この子羊だけなのです。」そして、「あなたが私の娘を生きさせて下さるならば、私は彼女に見たことはありませんが、私が彼女の手で髪を撫でるとき、彼女はとても慰めになってくれるのです。」と言いました。そして、「彼女は私を愛しており、私は彼女を愛しています。」と言いました。そして、「エホバ、あなたが彼女を生かして下さるなら、私はあなたに私の子羊を犠牲として捧げます。」

51 そして、彼の娘は元気になりました。そして、ここで彼は子羊と一緒に宮に上っていました。そして司祭が出て来てバルコニーに立ち、「盲目のバルテマイ、今朝、あなたはどこに行くのですか？」と言いました。

彼は言いました、「私は宮に、この子羊を犠牲としてささげるために行きます。」

「ああ」と彼は言いました、「盲目のバルテマイ、あなたはそれをするにはできません。」「私があなたにいくらお金あげます、そしてあなたは屋台に行きます、そしてそこであなたは子羊を買ってそれを捧げなさい。」と言いました。

彼は言いました、「私は神に子羊を約束したことはありません。私は神にこの子羊を捧げることを約束しました。」

彼は言いました、「しかし、盲目のバルテマイ、あなたはその子羊を与えるにはできません。その子羊はあなたの目だからです。」

彼は言いました、「私がエホバへの約束を守るなら、彼は私の目のための子羊を備えて下さいます。」

彼はこの10月の寒い朝に、盲目のバルテマイの目のために羊が与えられました。「彼をここに連れてきてください」と言いました。彼は彼の目に彼の手を置きました、そしてそれは神の供えられた子羊が彼の目を開けたのでした。

52 友人たち、ご存知のように、彼が十字架にかかりに行くことについてのこの話についてはもっと多くのことを言えるかもしれませんが、私たちは後でそれを選びます。あなたの目の為にも同じ子羊が与えられているのをご存知ですか？その同じ子羊が今夜ここにおられるのです。神が供えられたのです。彼の他には誰もいないのです。それが神が供えられた子羊なのです。あなたはそれを信じますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]

私は時計を見て、すでに10時まで約20分です。私は9時に終わりにして、9時半の通常の出ようとしていました。

しかし、しばらく頭を下げて祈りましょう。私は今すべて人の目を閉じて欲しい、そしてあなたを垂れて下さい。少しの間、本当に畏敬の念を抱いてください。

53 「ダビデの子よ、イエスよ」と乞食は叫び、「私を憐れんでください。」とそして彼はじっとしていません。

彼一彼は…彼一彼の注意を惹かなければなりません。そして今夜、私たちの同じ叫びが彼を再びその場面に連れて来ることを信じていますか？そしてそれをしました。なぜ再びそれをしないのですか？

さて、あなたが頭と心をへりくだって垂れて、私はあなたに彼に対して「イエス」と叫んでほしいのです。ダビデの子と呼ばないでください。彼はあなたにとってはダビデの子ではないからなのです。彼こそが主なのです。「主よ、イエスは私を憐れんでください。盲目の目を開けて下さい。今夜私たちと一緒にいるこのミスターから聞いたことがあります。あなたが終わりの時に、あなたがアブラハムとその時代に彼の子孫にしたのと同じように、あなたがアブラハムと子孫にあなた自身にを顕現すると約束されていると言っています。あなたはあなたが御言葉であることを約束されていました。

「この数日間、私は奇妙なことに気づきました。彼は、ヨハネによる福音書で、私が知っている、14:12、「私を信じる者、私がする業を彼もするであろう」と言っていました。そして女性は彼の衣に触れました、そして彼は彼女の問題が何であったかを知っていました、そしてそれは彼女がその多くの信仰を行使したからでした。つまり、彼が誰であるかを信じるために、彼の信仰が彼女に対してしたことを、彼は彼女が良くなったことを発表するにあたり「あなたの信仰があなたを救ったのです。」と言いました。エリコの門にいる盲人も同じことなのです。その木の中にいた人、今朝、彼の罪は許されました。

「私の盲目の目を開いてください、子羊。私は彼の御臨在の中にいることを認識するでしょう。彼がこのおられること。あなたは、「二人、三人が私の名前の元に集まるときはいつでも、私は彼らの中におる」と言われました。神の子羊よ、私に憐れみ、私の盲目の目を開いてください。」

54 そして、あなたがそれを祈っている間、あなたの心に疑いがある場合でも、どこかで疑いがある場合には…私たちは今、素晴らしい癒しの礼拝を始める直前になります。いかなる疑いがあるならば、はっきりと理解できるように、目からすべての鱗を取り除くように頼んでみましょう？

彼がユダヤ人に向かう前に、彼が教会に彼の最後のしるしを与えていたことを、あなたに何かを見せるように私の心を尽くしてここ数夜にわたってお見せしてきました。異邦人の花嫁が呼び出されます。

55 [誰かが別の異言で話し、それから解釈を与える—編集。]アーメン。さて、私が正しく理解しているなら、あなたが祈っている間に、聖霊が語られ、解釈を与えられました、神はあなたがたを招待してくださっています。

神が供えられた子羊があなたの目を開くのをここで何人が望んでいますか？それによってあなたが彼がここにおられること見ることが出来るように？手を挙げて言ってくださいますか？、「神よ、盲目の目を開いてください。主よ、私の心のベールを取り、理解することが出来るようにして下さいますように」

そして今、彼はどのように知られるのでしょうか？どのようにして我々は彼を知ることが出来るのでしょうか？彼の性質により、彼が何をするかにより彼の業によって。彼は言いました、「私はブドウの木、あなた方は枝です。」さて、ブドウの木ではなく、実を産むのは枝なのです。ブドウの木は枝にエネルギーを与えるのです。そして、もし枝が実をうむか、ブドウの木が枝を出してくれるなら、それにブドウが鳴るのです。次の木が出てきて、またはその木から枝が出て、ブドウが生ようになるでしょう。そのブドウの木から生まれた最初の教会がすべての賜物を備えたペンテコステ派の教会だった場合、それが本当に別の枝を出すなら、彼らはその裏で別の使徒行伝を書くことになるでしょう。そして、それは使徒たちの時代に彼らが持っていたものであり、使徒の時代は決して終わっていません。

56 ペテロはペンテコステの日に、「あなた方一人一人が悔い改め、罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けるならば、あなたは聖霊の賜物を受け取るでしょう。この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」と言いました。そして神がまだ召しておられる限り、使徒時代はまだ続いているのです。「約束のために」、「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

57 主よ、私たちの目を開いて、その供えられた子羊を見せて下さい。あなたは、人の子が明らかにされたときにソドムでしたように、終わりの日にあなた自身を明らかにすることを約束されていました。神よ、あなたが今それを与えて下さり認めて下さるよう祈ります。主よ、私たちはあなたの臣下なのです。私たちはあなたのブドウの木なのです。

私たちはふさわしくありません、何かを求めるにふさわしいわけでもありませんが 私たちがそれについて

て考えれば、私たちはとても小さく、私たちはあまり良くもないのです。しかし、主よ、私がそこを調べて、私のために子羊が供えられていることを見るにつけ、そこには供えられた子羊がいるのです、その時神は私を見られませんが、彼は私の子羊を見られるのです。そして、私はその子羊に何も問題もないことを知っています。すでに受け取っています。

さて、主よ、今夜、私たちの真っ只中に、ここにあるこのバルテマイの信仰、長血を患っていた女性、それらの全ての一人一人がそしてそれが何であれ、そしてシモン・ペテロの信仰を神のこぼれによって現れさせてください。ここにある別のもの、それは木の中にいた必要を抱えたザアカイがいました。主よ、あなたご自身が人間の肉体を通して現れて下さい。今夜、あなたの御言葉が私たちの間で生きるようにしましょう、それにより我々があなたが神であることを知り分かることが出来るように。主よ、この大きな癒しの礼拝が始まる時、すべての人が癒されますように、そしてすべての霊的な盲目の目が悟りに対して開かれますように。これらのすべての小さな子供たち、そして松葉杖を使っている人々、そして彼らの問題が何でも、白い杖を持っている彼らも、盲目だったバルテマイと同じように癒されてここを出て行くことが出来るように。彼は見えるようになりました。父よ、認めて下さい。イエス・キリストの御名でお願いします。アーメン。

58 さて、私たちは祈りました。そして今、今、厳粛に、静かにして、信じてください。さて、私が…この小さなドラマ、それが何であるか、それは真実か、それとも真実ではないかのどちらかなのです。そして、キリストは昨日も今日もいつまでも変わることのない方です。さて、どれほど彼を知っていますか？

ローブを着たままここを歩いている男性がいて、アーティストのようなひげと髪が彼を描き、手に爪の傷跡があり、顔から血が流れているとしたらどうでしょう。それはイエスではないでしょう。いいえ。彼はいと高き方の右側に座っています。彼が来られる時、すべての膝が跪き、すべての舌が告白します。それで…しかし、あなたは彼をどのように知っていますか？どんな偽善者でも、そのように自分自身を描き、そのように行動することができます。確かに。

しかし、どうやって彼を知るのでしょうか？彼はあなたが彼の性質を見て、彼の言葉が現れて、いつもそれが常にされてきたことを正確にしている時に、あなたはそれが彼であることを知るので。そうですか？「私がする業。」

59 さて、ほら、あなたはただ彼を今自分自身に信じさせようとしています。来て下さい。人々が言うように、あなたの思いを休眠させないでください。そんなことをしないように。あなたは行き当たりばったりで神のもとに来ることはありません。あなたは御言葉を持って知的に彼のところに来るのです。あなたは御言葉をあなたの前に持って行き、言うのです、「主よ、あなたは約束されました。私はあなたに私の目を開くようにお願いしました。今夜、私の信仰で主イエスを止めさせてください。彼が私に向き直って、彼のように私に言う事が出来るように…その女性が何年も前にしたようになりますように。」そして、あなたは心から信じています。

さて、私が見える限りでは、観客の中に、私が知っている人がいます。あなたがたは皆私にとって知らない人たちです。

そして、時々あなた方は、この前にいるこれらの人々だけがそれを得られると思っています。いいえ、違います。その道私はあなたがどこにいるかは気にしません、あなたはただ信じて下さい。建物のどこにいてもかまいません。彼はあなたが誰で、どこにいるかをご存知です。

さて、もし彼が昨日も今日もいつまでも変わることのない方であるか、バルテマイのようにあなたの信仰が彼を止めることができるかどうかを見て下さい。あなたが物乞いである必要はありません。彼がしたように叫ぶ必要はありません。叫び声では彼は止まりませんでした。彼はそれを聞いていませんでした。彼を止めたのは信仰です。「あなたの信仰！」彼は「あなたの悲鳴があなたを救った」とは言われませんでした。「あなたの信仰があなたを救った。」「あなたの信仰があなたを救った」分かりますね。よし

主が祝福されますように！

60 そこに座っているそのミニスターで、65年間説教をしている兄弟が私をひいきにしてくれるだろうか？やりますか？あなたの隣に座っているその女性にあなたの手を置いてください、そうすれば心臓の問題は彼女から離れるでしょう。大丈夫、それだけなのです。あなたはそれを信じていますか、姉妹？大丈夫、それだけなのです。

彼女は何に触れましたか？私は彼女に会ったことはありませんが、それは起こりました。「もしあなたが信じられないなら！」あなたは今信じますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]

それは彼を証認していますか?あなたの目は開いていますか?それから彼を見てください、彼は素晴らしい、強力な征服者なのです!何も、信条も、宗派も、科学者も、何事も、彼を止めることはできません。彼は神です。アーメン。私はここにいる誰にでも、彼が今そこにいると信じているかに関して挑戦しています。

61 彼らがワシントンで手に入れた紙の上に主の天使の写真を見たことがある人は何人くらいここにいますか?彼は今ちょうどこの演壇の上に立っておられるのです。そうです!私はそれがここにあることが分かっています。私はそれを知っています。私は狂信的ではありません。そこからは遠い人間です。聖書の真理についてお話ししているのです。あなたはそれを信じて、何が起こるかを見てください。

ほら、再びそうです。端に座っておられるこの小さな黒人の女性、見回しています。本当に、彼女は神からの御好意を望んでいるのです。彼女はミニスターであり、神が彼女のミニストリーにおいて彼女に助けを下さるようにと祈っています。そうですね、ご婦人?それが正しい場合は、手を挙げてください。私は彼女に会ったことはありませんでした。彼女はその小さな色の女性がその時テネシーいたのと同じくらい私にとって見知らぬ人なのです。

62 男性、黒人の男性があなたを見てそこに座ってそのことにとても喜んでるように見える方がいます。私を神のしもべだと信じていますか?信じていますか?その女性は彼らがしたのと同じようにあなたの心に触れました、「良き励ましに成れ」と言ってください。私があなただけを呼ぶのではなく、主があなただけを召命しておられるのです。あなたが心からそれを信じているなら、その糖尿病はあなたを去るでしょう。信じますか?アーメン。大丈夫、それならあなたはそれを持つことができます。アーメン。主を褒め称えましょう!それだけです。

彼は何に触れましたか?彼は私には決して触れませんでした。彼は主に触れたのでした。

ほら、ここに私を見ている若い白人の少年が座っています。彼の心にある深い願い。私はあなたを知りませんでした。あなたは聖霊のバプテスマを求めています。そうですね、あなたです。信じますか?信じない、そうすればそれを受け取るでしょう。若い人、あなたはそれを信じますか?つまり、もし信じるならば、それを受け取ることが出来るのです。

63 ここにこの後ろ側に小さな女性がおられます。彼女は苦しんでいます。それは彼女の左腕です。その腕の骨が折れています。左腕に結び目があります。彼女の右腕には、神経炎とリウマチがあります。彼女はそれがなくなることを望んでいるのです。カウンセル夫人、あなたは心から信じていますか?神があなただけを元気にさせると信じています...か。あなたは癒されました。イエス・キリストがあなただけを元気にします。

私はわが人生でその女性の事を見たことも、聞いたこともありませんでした。エホバはそれが真実であることをご存知です。アーメン。

ここに座っている小さな黒人の女性がおられます。彼女は合併症、多くのことで苦しんでいます。一つ目は、あなたはあなたの目に問題を抱えていました。眼鏡をかけているからではありません。とにかく目が悪くなっています。あなたは関節炎を患っています。それが正しい場合は、手を振ってください。胸に痛みがありますね。そうでしょうか?手を振ってください。あなたは胃に問題があります。それが正しい場合は、手を振ってください。主があなただけを元気にすると信じておられますか?あなたは神が私をあなたが誰であるかを教えてくれると信じていますか?エドナ ジェラルド。あなたが心からそれを信じるなら、それを信じて、そうするとあなたは癒しを持つことができます。アーメン。

あなたは彼が昨日も今日もいつまでも変わることはない方であると信じますか?[会衆は「アーメン」と言います。一 編集。]

64 端にここに座っているこの女性はどうか、2列目、私をまっすぐにご覧になっている方?彼女は足に問題を抱えています。あなたは神があなただけの足を癒されると信じていますか?もしそうなら、手を挙げてください。私は彼女を知りません、彼女に会ったことはありません。

彼女の隣に座っている女性はどうか?あなたは...姉妹、こちらの方を見て下さい。あなたは私があなただけの心を尽くして神の僕であると信じていますか?あなたには気になっている神経炎があります。それが正しい場合は、手を振ってください。今、あなたは癒されることが出来ます。

彼女の隣に座っている女性、心から信じていますか?あなたも苦しんでいます。あなたは神が私にあなたの問題を教えてくれると信じていますか?腎臓の問題。それが正しい場合は、手を振ってください。

彼女の隣に座っている女性、あなたは信じていますか?あなたは神経質な問題とあなたの目の事で苦

しんでいます。それが正しい場合は、手を振ってください。

彼女の隣に座っている女性、あなたは信じていますか、姉妹？あなたには影がかかっています。あなたは胃の問題を抱えています、それは胃癌です。神があなたを癒されたと信じていますか？アーメン。

65 信じますか？あなたの目が開かれたら、彼が神の子であると信じることができますか？そして、あなたがそうするなら、あなたの足に立って彼を受け入れ、そして彼が昨日も今日もいつまでも変わることがないと心から信じてください。「イエスよ、ダビデの子よ、私を憐れんでください！」

私を通過しないでください、優しい救い主、  
私のへりくだった叫びを聞いてください。  
他の人にあなたが呼びかけている間、  
私を通り過ぎないでください。  
あなたは私のすべての慰めの小川、  
私にとって人生よりも偉大な方、  
あなたを他にして地で私の隣にいる人があろうか？  
あるいは、天においてもあなたを他にして誰があろうか？

66 何が起こったのですか？あなたの信仰は、その盲目の乞食のように、その場面で彼を呼びました。アーメン。信じますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]ああ、プレイヤーラインの必要はありません。とにかく、あなた方の何人が癒されたと信じていますか？手を挙げて、彼をほめたたえよ！アーメン。あなたは癒されました。

イエス・キリストは私たちの真ん中にいます、ザアカイの名前を知っていて、バルテマイを知っていてエリコを通り抜けたのと同じ方です。今夜、同じ主イエスが聖霊の形でここにおいて、彼が行ったのと同じことをして、イエスは昨日も今日もそしていつまでも変わらない方である事を確実に証明します。信条、神学、そして冷酷な呪文にあなたを窒息させることのないように。あなたはイエス・キリストのご臨在の内にいます、あなた方の中で現わされます。アーメン。心から信じています。アーメン。

癒しを受け入れて、「主を褒め称えよ！受け入れます。」と言うのです。

67 それでは彼に賛美を歌いましょう。「愛してる、愛しています」あなたは彼を愛していますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]「彼が初めに私を愛して下さった。」あなたは彼を愛していますか？  
愛しています、

彼のご臨在の中で彼を礼拝しましょう。あなたは彼がここにおられることは間違い事を知っています。  
…彼を愛している  
彼が私を初めに愛して下さったから  
そして私の救いのために支払って下さった。

癒しの為にも。それはあなたの救いの一部です。それをどこでするのですか？カルバリーの -カルバリーの木の上で。私たちの心のすべて！  
愛してる、愛しています、

本気で言っています。彼を崇めたてよ！  
彼が私を初めに愛してくれたから。  
そして私の救いのために支払って下さった  
カルバリーの木の上で。

68 アーあなたは彼を愛していませんか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]誰かと握手して、「主を褒め称えよ！」と言ってください。あなたはお互いに愛し合い、あなたは彼を愛しています。振り向いて誰かと握手して、「主を褒め称えよ！」と言ってください。主を褒め称えよ！私たちはここにいられてうれしいです、兄弟、私たちが主イエスの臨在の内にいられることを嬉しく思います。」アーメン。アーメン。素晴らしい！ああ！

パウロは言いました、「私が歌うなら、私は御霊の内で歌います。」再び御霊の内に礼拝しましょう。御霊の内で歌いましょう。

愛してる、愛しています、(ハレルヤ)  
彼が私を初めに愛して下さった  
そして私の救いのために支払って下さった

カルバリーの木の上で。

ああ、あなたは彼を愛しているのではありませんか？彼は素晴らしい方ではありませんか？歌いましょう！

イエスは私にとって、何と素晴らしい方、  
彼こそが、霊妙なる議士、大能の神、平和の君  
わたしを救い、すべての罪と恥から私を守り、  
私の贖い主は素晴らしい方なのです、彼の名をほめたたえよ！  
イエスは私にとって何と素晴らしい方、  
彼こそが、霊妙なる議士、大能の神、平和の君なのです  
ああ、私を救い、私をすべての罪と恥から守って下さる方、  
私の贖い主は素晴らしい方です、彼の御名を褒め称えよ！

このような、神の御臨在の中で今何が起こるのでしょうか？

私はかつて失われていました、今私は非難されることなく、見つけられました、  
イエスは自由と完全な救いを与えて下さる方です。  
私を救い、すべての罪と恥から私を守り、  
私の贖い主は素晴らしい方です、彼の御名を褒め称えよ！

オー、心からその思いを本気にして歌いましょう。

イエスは私にとっても素晴らしい方、  
彼こそが霊妙なる議士、大能の神、平和の君なのです。  
ああ、私を救われ、ああ、すべての罪と恥から守って下さる、  
私の贖い主は素晴らしい方です、彼の御名をほめたたえよ！

69 ああ、それはあなたに何かをなしませんか、あなたの内側にある傷を取り去ってくれませんでしたか？[会衆が喜んでいー編集]交わり、ああ、なんという感覚でしょう！私はこれをあなたが積み上げることができるすべてのお金、それ以外のものすべてとでさえ交換することはしません。捨ててください、でも私にはイエスを下さい。ああ、何と素晴らしい！はい、そうです。交わり！

ああ、永遠の腕に寄りかかってこの巡礼者の道を歩くのはなんて素敵なことでしょう、彼がここにおられることを知ってください！ああ、ひとめぼれのように、私たちの中で何か呼びかけています！ああ、何か…蓋は、芸術的な井戸から離れて、水を噴き出しています。そして、それが噴出するほど、それはより涼しくて新鮮になるような感じです。アーメン。ああ、彼は素晴らしいです！そうではありませんか？[会衆は「アーメン」と言います。ー編集。]私は彼を愛しています。あなたは？[「アーメン」]ああ、何と素晴らしい！

70 お互いに愛し合っていませんか？[会衆は「アーメン」と言います。ー編集。]さて、あなた方メソジスト達全員がペンテコステ派と握手し、そしてあなた方、バプテスト派も、そしてただ本当に友好的になるのです。それができないなら、あなたは彼を愛していないのです。そうです。なぜなら、彼らは彼を愛し、あなたは彼を愛しています。彼はあなたをあなたの特徴的な方法で連れて行きました、彼は他の人たちにもそうしたのです、だから今ただ同意しましょう。ああ、彼は素晴らしくないですか？[「アーメン」]私たちは心からそれを信じています。

ああ、もう一度歌いましょう。教会のこの素晴らしい古い賛美歌、「愛してる、愛しています。」

彼が初めに私を愛してくれたから、私はそれを十分に言うことができません。彼は私を愛し、貧しく、故意に盲目で、罪を愛し、惨めな酔っぱらいの息子を雨どいで洗い、彼の恵みによって身をかがめて下さいました。私はそれとは何の関係もありませんでした。彼が私を選びました。ええ。どうしてそれがなされるのでしょうか？どのようにオナモミを小麦に変えられるのでしょうか？神の力が必要です。アーメン。私は彼を愛しています。ああ、私は今、私はある種の献身を感じています。私ー私ー私は気分が良いです。

71 私は彼がここにおられることを知っています。それは主なのです。彼はそれを約束されました。彼は今私たちの真っ只中におられるのです。どれほど彼を愛しているか！彼は素晴らしい方。私たちがそれについて推測する必要がないことを知る時、それは気分を良くしてくれます。ここで彼は、彼がいつも持っているように、みことばの中で自分自身を正しく認証させて、それを彼にします。信条や神話ではありません。しかし、生きている神ご自身なのです。彼はどのようにして彼自身を知らされましたか？ソドムではなく、アブラハムに。そして今、アブラハムの子孫に向かっています。彼の後、私たちがアブラハムの子孫であることを示して

います。アーメン。ああ、素晴らしい!今は本当に気分がいいです。  
愛してる、(ああ、なんという祝福のシャワー!)愛しています、  
なぜなら彼が初めに愛してくださった…

考えてみてください。あなたが彼を愛する前に、彼はあなたを愛してたのです!

主イエス様、これらの人々の癒しを、父よ、彼らの一人一人が癒されるように癒しを与えて下さることを認めて下さい。イエス・キリストの御名によって、私は主よ、あなたの栄光のために祈ります。アーメン。カルバリーの木。

72 ああ、今静かに優しく頭を下げましょう。とにかく、私たちはただ子供たちなのです。私たちは神の子供たちなのです。あなたはある子供が彼の親の周りでどれほど自由であるかを見たことがありますか?彼の両親は彼を見えていますね。ハミングしましょう。[ブラナム兄弟が愛しているをハミングし始める—編集]

彼がここに立っているのをただ見て下さい、偉大なる火の柱!彼は言いました、「私は神から来ました。私は神に行きます。」彼は荒野のモーセとともに火の柱であった神の言葉でした。彼はカルバリーで死に、再び蘇られました。そしてサウルがダマスカスへの道を進んでいたとき、同じ火の柱が彼を打ちのめしました。彼は言いました、「主よ、あなたはどなたですか?」

彼は言いました、「私はイエスです。」

彼は神から来ました。彼は神のところへ行きました。科学的な証明、教会の証明、すべてによって私たちと同一視されました。「私は…」彼の同じことをもたらし、彼の御言葉を宣言しています。彼は解き明かしをする方なのです。[ブラナム兄弟、愛していますをハミングする—編集]

彼が今すぐ来て、周りを見回して、皆が変わって行くのを見るのは素晴らしい時になるのではないでしょうか?彼はいつか来られるでしょう。[ブラナム兄弟が、愛してるをハミングする—編集。]

今、私たちはゆっくりと頭を下げています。[ブラナム兄弟が、愛しているをハミングする—編集。]

午前中の礼拝の事を覚えておいてください。もしあなたがこの人でなく、教会を持っていない場合。これらの立派な牧師たち、彼らはこの同じ福音を信じていなければ、ここで私に集会を持たせてはくれなかったでしょう。彼らは教会であなたを歓迎します。明日、良い礼拝を、今夜は良い夜をお過ごしください。その後、明日の午後、癒しの礼拝があるので戻ってきてください。

[ブラナム兄弟が、愛しているをハミングする—編集。]よし兄弟、神の祝福がありますように。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7